



# Cisco Cloud Network Controller について

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [注意事項と制約事項 \(2 ページ\)](#)
- [Cisco Cloud Network Controller GUI について \(2 ページ\)](#)

## 概要

Cisco Application Centric Infrastructure (ACI) プライベートクラウドを所有しているお客様は、パブリッククラウドでワークロードの一部を実行することがあります。ただし、ワークロードをパブリッククラウドに移行するには、別のインターフェイスを操作し、接続を設定してセキュリティポリシーを定義するさまざまな方法を学習する必要があります。これらの課題に対処すると、運用コストが増加し、一貫性が失われる可能性があります。

Cisco ACI は、Cisco Cloud Network Controller を使用して、マルチサイトファブリックを Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、および Google Cloud パブリッククラウドに拡張できます。

### Cisco Cloud Network Controller とは

Cisco クラウドネットワークコントローラは、クラウドベース仮想マシン (VM) で展開可能なソフトウェアです。Cisco Cloud Network Controller は、次の機能を提供します。

- Google Cloud パブリッククラウドと対話するための既存の Cisco APIC と同様のインターフェイスを提供します。
- クラウド接続の展開と設定を自動化します。
- クラウドルータコントロールプレーンを設定します。
- Cisco ACI ポリシーをクラウドネイティブポリシーに変換します。
- エンドポイントを検出します。

## 注意事項と制約事項

ここでは、Cisco Cloud Network Controller の注意事項と制限事項について説明します。

- テナントのオブジェクトを設定する前に、古いクラウドリソース オブジェクトを確認します。アカウントを管理していた以前の Cisco Cloud Network Controller 仮想マシンから適切に消去されなかった場合、古い設定が存在する可能性があります。Cisco Cloud Network Controller は古いクラウドオブジェクトを表示できますが、削除することはできません。クラウドアカウントにログインし、手動で削除する必要があります。

古いクラウドリソースを確認するには、次の手順を実行します。

1. Cisco Cloud Network Controller GUI から、[ナビゲーション (Navigation)] メニュー > [アプリケーション管理 (Application Management)] > [テナント (Tenants)] の順にクリックします。[テナント (Tenants)] サマリーテーブルは、テナントのリストとともに、サマリーテーブルの行として作業ペインに表示されます。
2. オブジェクトを作成するテナントをダブルクリックします。[概要 (Overview)]、[トポロジ (Topology)]、[クラウドリソース (Cloud Resources)]、[アプリケーション管理 (Application Management)]、および [イベント分析 (Event Analytics)] タブが表示されます。
3. [クラウドリソース (Cloud Resources)] > [アクション (Actions)] > [古いクラウドリソース (View Stale Cloud Objects)] の順にクリックします。[古いクラウドオブジェクト (Stale Cloud Objects)] ダイアログボックスが表示されます。

## Cisco Cloud Network Controller GUI について

Cisco Cloud Network Controller GUI は、関連するウィンドウのグループに分類されます。各ウィンドウでは、特定のコンポーネントにアクセスして管理できます。GUIの左側にある [ナビゲーション (Navigation)] メニューを使用して、ウィンドウ間を移動します。メニューのいずれかの部分にマウスを移動すると、[ダッシュボード (Dashboard)]、[アプリケーション管理 (Application Management)]、[クラウドリソース (Cloud Resources)]、[操作 (Operations)]、[インフラストラクチャ (Infrastructure)]、および [管理 (Administrative)] タブのリストが表示されます。

各タブには異なるサブタブのリストが含まれており、各サブタブから異なるコンポーネント固有のウィンドウにアクセスできます。たとえば、EPG固有のウィンドウを表示するには、マウスを [ナビゲーション (Navigation)] メニューに合わせ、[アプリケーション管理 (Application Management)] > [EPGs] をクリックします。そこから、[ナビゲーション (Navigation)] メニューを使用して別のコンポーネントの詳細を表示できます。たとえば、[運用 (Operations)] > [アクティブセッション (Active Sessions)] をクリックして、EPGから [アクティブセッション (Active Sessions)] ウィンドウに移動できます。

[**インテント (Intent)**] メニューバー アイコンを使用すると、GUI の任意の場所からコンポーネントを作成できます。たとえば、[**EPG**] ウィンドウの表示中にテナントを作成するには、[**インテント (Intent)**] アイコンをクリックします。検索ボックスとドロップダウンリストを含むダイアログが表示されます。ドロップダウンリストをクリックして [**アプリケーション管理 (Application Management)**] を選択すると、[**テナント (Tenant)**] オプションを含むオプションのリストが表示されます。[**テナント (Tenant)**] オプションをクリックすると、テナントの作成に必要なフィールドのグループを示す [**テナントの作成 (Create Tenant)**] ダイアログが表示されます。

Cisco Cloud Network Controller コンポーネントの構成の詳細については、[Cisco Cloud Network Controller コンポーネントの構成](#) を参照してください。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。